

進路だより

第六号

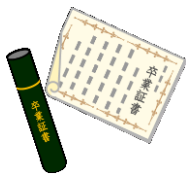
笠田高等学校進路指導部 二〇一九年二月二十八日発行

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。長いようで短い三年間だったと思います。振り返ってみるといろいろな出来事があったでしょう。中でも進路が決まるまでには、夢やあこがれだけでなく、迷い、不安などいろいろな思いがあったことと思います。

今回の進路だよりでは、三年間目標を持って着実に努力を重ね、合格を勝ち取った卒業生の体験記を紹介します。一、二年生の皆さんは、しっかりと読んでぜひこれからの高校生活の参考にしてください。

【就職の部】

山崎製パン株式会社



私は、山崎製パン株式会社に就職が決まりました。高校に入学してから三年生になるまで、卒業後の進路について全く考えていませんでした。

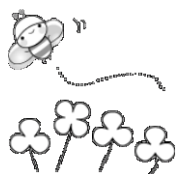
私は吹奏楽部に所属していたので、なんとなく音楽に関わる仕事ができたらいいなと思っていました。しかしいろいろと調べてみると、音楽分野の学校では授業料などが多くかかるということもあり、三年生になってから就職すると決めました。

進学するにしても就職するにしても、まず良い成績を取ることが必要です。部活動が忙しく、毎日勉強することはできませんでしたが、授業態度をよくし、定期テストの勉強をきちんとしました。また、就職では出席日数が大事です。欠席・遅刻が多いと、会社でもよく休むのではないかと思われてしまいます。就職試験では面接は必ずあります。一回目の面接練習は自信がなくてとても不安でしたが、繰り返し練習し、先生

方の協力もあって、合格することができました。一・二年生の皆さんも、自身の夢に向かって自信を持って、一生懸命頑張ってください。

【進学の部】

同志社大学 商学部



私は、高校に入学したとき、将来の夢や目標を決めていませんでした。だから、テストでは常に上位を維持できるように勉強を頑張りました。また、自分の受ける検定には必ず受かるように検定勉強も頑張りました。

検定を取得していく中で、私は、検定を活かした職業に就きたいと思うようになりました。そして、商業科目についてももっと勉強したいと思い進学することを決めました。

だから私は商学部、経済学部、経営学部のある大学を中心に積極的にオープンキャンパスに参加しました。オープンキャンパスは大学の方と直接お話ができたり、大学を見学できたりするので、たくさんオープンキャンパスに参加するべきだと思いました。

そして、私が最終的に決めた大学は、指定校推薦のあった同志社大学の商学部です。指定校推薦をとれたのは、一年生の時から積み上げてきた成績、一級の検定取得があったからです。この時私は、一年生から勉強を頑張ってきた、本当に良かったなと思いました。

私の場合受験科目は、小論文と面接でした。一緒に受験勉強頑張ろうって言うってくれる友達、アドバイスを練習に付き合ってくれる先生、周りに応援してくれる人がいるからこそ、受験勉強も頑張れました。

春から新しい環境で、将来の夢のために頑張ってください。皆さんも目標に向かって頑張ってください。



錦秀会看護専門学校

私は、高校に入学したとき、将来の夢や就きたい仕事が決まっていませんでした。だから、進路の選択肢を増やすために、一年生のときから勉強を頑張っていました。定期テストも気を抜かず、しっかりと勉強しました。

私は部活に入っていたこともあり、オープンキャンパスにはあまり参加できず、一年、二年生の間は進路が決まらず焦っていました。しかし、三年生の春頃に病院主催のボランティアに参加したときに、人の役に立つ看護師になりたいと思い、看護師を目指すようになりました。部活を引退してからでも遅くはないので、気になる学校があったらオープンキャンパスには絶対に参加した方がいいと思います。自分の志望する学校が決まれば、その学校の受験科目の対策ができるからです。

私が志望する学校の受験科目は、現代文と面接でした。ほとんどの看護学校は、受験に面接があります。面接は、質問に対する答えを完璧に覚えるのではなく、試験官からの質問に対し、いかにスムーズに受け答えできるかが大切です。だから多くの先生に協力してもらってたくさん練習したら、人の目を見て話すことに慣れていくので、たくさん練習してほしいと思います。

私は受験勉強を始めるのが遅かったのですが、無事に第一志望校に合格することができました。後輩のみなさんにはまだまだ時間があります。たくさん悩んで自分に合った学校を見つけ、計画をしっかり立てて受験勉強を頑張ってください。体を休ませることもとても大事です！看護は進路決定が他の学校よりも遅めなので、ゆっくり焦らず頑張ってください。最後まで諦めないでください。



進路指導部より

先輩方の体験談はいかがでしたか。世間では就職は好調といわれていますが、体験談から、三年間の欠席の少なさ、一年生からのよい成績、資格を持っていることが有利になることがわかります。進学面では、大学の統合等再編が進み、人気のある大学はさらに難しくなっています。

一・二年生の皆さんが、今からやっておくべきことは何でしょうか。それは、二つあります。

まず、できるだけ早く自分の進路目標を見つけることです。短い春休みですが、部活動以外のことも真剣に考えて将来を見つめましょう。大学や専門学校について保護者の人にも相談し、オープンキャンパスや体験講座などに積極的に参加しましょう。目標が定まればやるべきことが見えてきて、早くから準備することができ、万全の態勢で受験や就職試験に臨むことができます。

次に、自分の学力を知り、勉強することです。今の学力で志望校への合格の可能性はどれくらいあるのでしょうか。なんとなく『行けると思う』という言葉をよく耳にします。そんなわけはありません。勉強しては模試を受け、弱点を見つけ克服するための手立てを考えていかなければなりません。苦手科目は何もしなければもっと苦手な科目になっていくだけで、受験勉強のモチベーションを下げる最大の原因となります。自分の実力を知るために、希望者対象の模試も積極的に受けましょう。

これからは部活動と学習のバランスを考え、時間を有効に使う努力が必要です。後悔のない進路決定ができるよう、その時々流されず、気持ちを引き締めて生活しましょう。

平成 30 年度 進路決定状況

平成 31 年 2 月 19 日現在

学科		在籍数	四大	短大	専門	就職	合計
総合 ビジネス科	男	4	2	0	1	1	4
	女	36	9	2	15	10	36
	計	40	11	2	16	11	40
情報処理科	男	12	8	0	4	0	12
	女	28	3	2	17	4	26
	計	40	11	2	21	4	38
普通科	男	32	15	2	11	2	30
	女	47	16	4	24	3	47
	計	79	31	6	35	5	77
全体	男	48	25	2	16	3	46
	女	111	28	8	56	17	109
	計	159	53	10	72	20	155

